

時間が掛かった谷川岳馬蹄形

山行実施日 九月十日

二高

前日から土合駅に入り、仮眠。一時四五分に駅を歩き出し、二時前に白毛門登山口に作り付く。木の根が飛び出している急登をヘッドランプとハンドランプ二つで照らしながら歩くが暗くて歩度が上がらない(あとで確認したら、ヘッドランプの明るさは五十分ルーメンしかなかった)。おまけに天気予報では終日晴れだったのに霧雨が降ってきた。山頂直下で散々迷い、もう引き返そうかと思っていたところ、トレラン風のお兄さんに抜かれる。これで少々踏ん切りが付き、とりあえず白毛門まで行ってみようかという気分になり、五時過ぎにやっと

山頂着。パンを食べていたお兄さんはそそくさと立ち上がって歩き出し、二度と追い付くことはなかった。

山頂に着いた頃から、雨はやみガスも上がり、晴天となる。こうなると現金なもので、歩く気分になつてきた。いなり寿司を二個ほおぼつてから、稜線を結構いいペースで笠ヶ岳そして朝日岳まで歩いた。

朝日岳からはこれから歩く谷川岳がよく見える。しかしこれからあんなに歩けるのかと不安にも思う。ここでまた、いなり寿司を二個食べた。いなり寿司は今回初めて持参したのだが、適度な湿り気があり食べやすいし、一つ一つが

ちょうど良いサイズだ。



朝日岳からジャンククションピークを越え、清水峠までの長い長い下り道を歩く。たどり着いた峠はガスの中だった。一休みしてから、七つ小屋山までのこれまた長い登りを登

り返す。七つ小屋山は道標が一本立っているだけで何もない感じであるが、この雰囲気はまた何とも言えず良い。ここまで来ると、またガスが上がり今まで歩いた朝日岳がよく見えた。そしてこれから足を進める谷川連峰も蓬峠を挟んで鮮やかだ。



蓬峠に着いたときに、後ろから猛烈な勢いで歩いてきた登山者に追い付かれる。聞くところ、やはり馬蹄形縦走のことで。彼の脚力が羨ましい。ここでもいなり寿司を二個食べながら出発。しばらくは平坦な感じであったが、すぐに武能岳の急登となる。朝日岳を眺めつつ、武能岳着。



武能岳からの西尾根は雪が着いたときは上部が結構神経を使うと聞いたが、やはりそんな感じだった。で、ここから笹平まで急下降し、標高差三百メートルの今回での一番の難所、茂倉岳への登りである。天気がよいのが災いするか？気温がグングン上がり、体力を消耗する。水は今回三リットル携行してきていて、それまではそんなに飲んでいなかったのが、以降結構なペースで飲むようになり、西黒尾根を下っていたときは飲みきってなくなってしまった。ここいらへんからさすがにバテだしてきて、歩度が上がらなくなり何回も休みつつ、昼過ぎにようやくと茂倉岳着。谷川連峰最高峰の山頂はそこそこ人がいて、以降すれ違いう人、追い抜く人が今までと比較にならない位多くなった。

ここでもいなり寿司を二個食べてから一ノ倉岳への伸びやかな稜線を歩く。



大分くたびれて一ノ倉岳そしてオキの耳に着いて、今回としては少し長い休み。トマの耳に寄る気力は既になく、一路西黒尾根を下る。

西黒尾根の急下降、これ位の傾斜だったらいつもならもつとホイホイ下れるのだが、累積した疲労がそれを許さない。それでもかなりの数の登山者を追い抜き、二時間以上掛けてベースプラザに着いた。十六時発のバスに何とか間に合った。良かった！まずはとりあえず、缶チューハイを購入して頑張った自分に乾杯。しかしこのコースは毎年やるモノじゃあないね・・・

コースタイム

1:45 土合駅-1:57 白毛門登山口-
5:07 白毛門 5:13-6:00 笠ヶ岳-
6:57 朝日岳 7:03-8:19 清水峠 8:28
-9:55 蓬峠 10:03-10:45 武能岳-
12:12 茂倉岳 12:18-12:36 一ノ倉岳
12:38-13:18 オキの耳 13:31-
15:45 谷川岳ベースプラザ